

第1回青葉寮移転再整備事業実施法人選考評価等委員会 摘録

1 日 時 平成25年5月30日(木)午後3時30分から午後4時50分まで

2 場 所 京都市児童福祉センター管理棟3階 資料室

3 出席委員 奥野邦子氏, 笠中晴司氏, 門眞一郎氏, 宮本義信氏(五十音順)

4 摘 録

(1) 開会

あいさつ(江口京都市保健福祉局子育て支援部長)

(2) 委員会の役割と今後のスケジュールについて

資料1に沿い, 委員会の役割について説明(事務局)

資料3に沿い, 今後のスケジュールについて説明(事務局)

(3) 募集要項(案)及び評価基準(案)について

資料6から8までに沿い, 募集要項(案), 仕様書(案)及び評価基準(案)について説明(事務局)

【以下, 委員からの意見等及び本市の回答等の要旨(順不同)】(○: 委員, ●: 本市)

<奥野委員>

(応募法人数の見込みについて)

- 応募する法人数の見込みはどの程度か。
- 広報発表, ホームページへの掲載に加え, 都道府県・政令指定都市・児童相談所設置市の児童福祉主管課や本市所管施設への情報提供等, 広く周知を行い, 多くの応募をいただければと考えている。

<笠中委員>

(募集要項(案)の応募資格について)

- 応募資格(1)について, 「逮捕若しくは送検され, 又は逮捕を経ないで控訴を提起された日から2年を経過しない者でないこと」とあるが, これだと嫌疑をかけられた時点で欠格となる。刑事裁判で罪が確定した場合に限って欠格事由とする方が良いのではないか。
- 指定管理者募集に係る公募における応募資格等に合わせたものである。
- 応募資格(5)から(7)までについては, 応募者からの申告のみに拠ることとするのか。調査等を行うのか。
- 申告のみに拠る。欠格事由に該当することが判明した場合には, 失格とする。

(評価方法等について)

- 委員が付けた評価点だけで事業実施候補法人を選定するのか。例えば65点の法人と64点の法人があった場合、64点の法人を選ぶこともありうるのか。
- 評価点もご意見の1つとして承る。評価点も含めて、本市において総合的に判断する。評価点が相対的に低い法人を選ぶこともありうる。
- ある評価項目が0点で、他が全て2点であり、評価点の合計は高い法人があった場合、重要な項目が0点であることをもって選定しないという結論に至ることはありうるのか。
- お見込のとおり、ありうる。

(応募書類について)

- 施設の設定については、事業実施候補法人を選定した後、詳細を詰めていくのか。
- 最低限必要な設備については、省令で定められており、仕様書(案)にも記載している。詳細については、本市が補助に係る予算を要求する際に、詰めていくこととなる。
- 整備用地の登記簿や、既存建物を改修する場合は建物の登記簿を提出書類に加える方が良いのではないか。
- ご指摘のとおり、権利関係を確認するためには、あった方が良い。補助金申請の際には、借地できる等の証明書を出してもらっている例もある。

(法人運営の安定性について)

- 補助を行い、施設を建てたにも関わらず、運営開始後に何らかの事情で法人が施設を廃止したいという可能性もあると思うが、何らか担保をとる必要はないか。
- 安定的な運営が可能かどうかは、財務資料を提出していただき、確認することを考えている。また、監査を通じて、定期的に運営状況についても確認していく。
- なお、法人が運営する児童福祉施設を廃止するためには、本市の承認が必要であり、法人のみの意思で廃止することはできない。

<門委員>

(定員規模について)

- 定員については今の青葉寮と同じ入所35名、通所15名で考えているのか。
- 仕様書のとおり「概ね」同程度と考えている。
- 青葉寮の近年の状況を詳細に把握しているわけではないが、通所は15名を超える利用希望があることもある。実際どれくらいの利用があるのか確認した方が良い。特に年度後半になると増える。
- 近年の実績では、15名の定員いっぱいまでの利用はない。平成24年度の最高は、11名であった。

<宮本委員>

(評価項目について)

- 児童福祉施設の運営実績は非常に重要であると思う。評価する項目は評価項目8の1つだけか。また、運営実績の評価は、歴史を重視するのか、独創性を重視するのか等、どこに視点を置くかで変わると思うが、総合的に評価するということか。

- 児童福祉施設の運営実績を評価する項目は、評価項目8である。評価の視点についても、委員ご指摘のとおりである。

(応募書類について)

- 児童福祉施設の運営実績については詳細な資料を求めているが、どのようなものをイメージしているか。
- 基本的な部分については、法人調書で判断することとなるが、その他特筆すべき点があれば、募集要項(案)17ページに記載していただくイメージである。
- 評価基準は児童福祉施設の実績を重視することとなっているが、一方で仕様書では児童福祉施設以外の事業や施設との連携を重視しており、矛盾があるように感じる。
- 児童福祉施設の実績を重視したいと考えているが、その他の事業等の実績についてもより詳細に把握するため、募集要項(案)17ページの資料について、児童福祉施設に限らず、その他の事業等についても同様に提出を求めることとしたい。

(情緒障害児短期治療施設の運営について)

- 情緒障害児短期治療施設運営指針に則って運営していただく旨の記載があった方が良いのではないかと。それにより、運営のソフト面にも一定の縛りがかかるのではないかと。
- 仕様書に盛り込む方向で検討する。
- 小規模グループケアを推進しているとのことだが、小規模グループケアとはどのようなイメージか。寝食を共にするファミリーグループホームのようなイメージか。
- あくまで施設という枠組みの中で、1グループ6～8名程度に分けて、生活の単位を小規模とする、というものである。
- 交代制勤務がベースということか。
- そうである。

(4) 閉会

次回委員会開催予定等について説明(事務局)

(報道・記者：0名、傍聴：2名)